

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～6組

使用教科書：『探求 言語文化』（桐原書店）

教科 国語 の目標：言語活動を通して、人間性豊かで、互いの人格を尊重し、国語で他者に表現する資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】変化の激しいこれからの社会で対応できるような国語の知識や技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】他者を尊重し、他者とのかかわりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】人権尊重の理念を基盤に、言語の持つ価値への認識を深め、自ら学び考え行動する、個性と創造力豊かな人間を育てる。

科目 言語文化 の目標：言葉による見方・考え方を働かせ言語活動より理解を図り、効果的に表現する資質・能力を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に着けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者とのかかわりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			基	書	読					
1 学 期	単元：歴史的仮名遣い 【知識及び技能】 ・現代語との違いを把握し、古語の特徴を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古語の特徴を理解し、単語や文章を読むことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古語が日本語や日本の文化に密接に関わっていることを認識し、積極的に学び関わろうとすることができる。	【指導事項】 ・古文の特徴という観点から、現代語との言葉や文法、仮名遣いに違いがあることを指導する。 ・歴史的仮名遣いの読み方、書き方について指導する。 【教材】 ・桐原書店「探求 言語文化」 ・東京書籍「新精選 古典文法」三訂版 ・一人1台端末の活用 ＊意味調べ、チャットによる意見、振り返りシートの提出など				○				
	単元：品詞、動詞の活用 【知識及び技能】 ・品詞の種類と役割について理解することができる。 ・動詞の正格、変格活用を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・動詞の活用の種類と活用形を判断し導くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・他者や自分自身の言葉の使い方を鑑みながら学びに向かうことができる。	【指導事項】 ・言葉の単位や単語の分類の仕方にも触れながら品詞の区別および品詞について指導する。 ・動詞の活用、九種類を定着させ活用の種類、活用形の見分け方について指導する。 【教材】 ・桐原書店「探求 言語文化」 ・東京書籍「新精選 古典文法」三訂版 ・一人1台端末の活用 ＊意味調べ、チャットによる意見、振り返りシートの提出など				○				
	単元：見のそら寝 【知識及び技能】 ・歴史的仮名遣いや動詞の活用に基づいて、古文を正しく読むことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・話の展開を想像しながら、登場人物の心情を読み取ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古典文学に関心を寄せ、世界観を楽しむながら学びに向かうことができる。	【指導事項】 ・音読を行い、古文の独特のリズムや響きが意識できるように指導する。 ・動詞の活用の種類、活用形を自分で考える時間を設け、確実な定着を図る。 ・現代語訳を参考にし話の内容を確認しつつ、見や僧たちの心情がどのようなものかに焦点をあてて読解をしていく。 【教材】 ・桐原書店「探求 言語文化」 ・東京書籍「新精選 古典文法」三訂版 ・一人1台端末の活用 ＊意味調べ、チャットによる意見、振り返りシートの提出など				○				
	定期考查							○	○	
	単元：検非違使忠明のこと 【知識及び技能】 ・用言の理解を軸に現代語訳をすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・登場人物の心情や話のおもしろさなどを読み取り、自分の考えを持つことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・場面設定や情景を捉えるために、想像力を働かせ多面的に解釈する態度を養うことができる。	【指導事項】 ・円滑に文章を読むために歴史的仮名遣いの復習、定着を図りながらの音読を行い、古文の独特のリズムや響きが意識できるように指導する。 ・現代語訳をもとにかみ砕いて説明し、生徒自身が想像力を働かせて読むことができるよう、発問やペアワークを効果的に用い指導する。 ・話のおもしろさがどのようなところにあるか捉え、日常生活と結び付けて考えられるよう指導する。 【教材】 ・桐原書店「探求 言語文化」 ・東京書籍「新精選 古典文法」三訂版 ・一人1台端末の活用 ＊意味調べ、チャットによる意見、振り返りシートの提出など								

	単元：大江山	【指導事項】 ・内容に文章を読むために歴史的仮名遣いの復習、定着を図りながらの音読を行い、古文の独特のリズムや響きが意識できるように指導する。 ・現代語訳をもとにかみ砕いて説明し、生徒自身が想像力を働かせて読むことができるよう、発問やペアワークを効果的に用い指導する。 ・筆者の示す教訓からどのようなことを考えるか意見をもち、日常生活と結びつけて考えられるよう指導する。	○	○	○	○	○	
	定期考査							
2 学 期	単元：羅生門 【知識及び技能】 ・話の展開や主題の把握など、小説を読む基本的な方法を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・多面的、多角的な視点から登場人物を捉え、それぞれの心情や行動の意味を読み取ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分には考えられない状況や価値観であっても理解しているという態度を養うことができる。	【指導事項】 ・作者について学びを共有し、作品に入りやすくなるように指導する。 ・時代背景や下人の状況について整理し初読の初感を書く。 ・まずは下人の視点から読解を進め、下まの人格や心情について理解が深まるように指導する。 ・生徒の視点でも物語を捉え、視点をまたここで自身の読みにも変化があったか確認しながら進める。 ・作品を通しての感想を書き、初感との比較をする。＊何が変わった、なぜ変わったのかという観点からこの活動に取り組ませるよう留意する。 【教材】 ・桐原書店「探求 言語文化」 ・東京書籍「新精選 古典文法」三訂版 ・一人1台端末の活用 ＊意味調べ、チャットによる意見、振り返りシートの提出など	○	○	○	○	○	
	定期考査							
	単元：近代の俳句 【知識及び技能】 ・俳句の表現技巧を理解し、リズムとその効果を踏まえながら書くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・人に伝えることを意識しながら、自身の考えや思いを書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に表現されている自然や人生、生活を味わいながら、感性や想像力を豊かにすることができる。	【指導事項】 ・各俳句の作者について理解を図り読解に役立てよう指導する。 ・俳句の概要や読み方について理解するように指導する。 ・俳句から作者の心情を捉えることができるよう指導する。＊次の断片作の背景を確実に捉え、生徒の想像力を駆り立てることに留意する。 ＊指導形態としてグループワークを効果的に取り入れ、書くという活動にもつなげられるように指導していく。 【教材】 ・桐原書店「探求 言語文化」 ・東京書籍「新精選 古典文法」三訂版 ・一人1台端末の活用 ＊意味調べ、チャットによる意見、振り返りシートの提出など	○	○	○	○	○	
	単元：漢文の基礎 【知識及び技能】 ・漢文の構造と訓読の方法について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・基礎をもとに書き下しや音読をすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・漢文が日本語の基盤になっていることを理解し、主体的に学ぶに向かうことができる。	【指導事項】 ・漢文が日本語と密接に関わっていることを意識できるように指導していく。 ・文法構造に関して英語と同様の構造などを紹介して理解が進むように指導する。 ・漢文を読むための訓読への理解を深めるため調点を確実に定着させるように指導する。 ・送仮名の送り方（きまり）について指導する。 ・書き下しの仕方について学び、書き下せるように指導する。 ＊この際書き下しをするルールも意識させながら取り組ませることに留意する。 【教材】 ・桐原書店「探求 言語文化」 ・東京書籍「新精選 古典文法」三訂版 ・一人1台端末の活用 ＊意味調べ、チャットによる意見、振り返りシートの提出など	○	○	○	○	○	
	単元：漁夫の利 【知識及び技能】 ・故事成語の概要と言葉の意味、由来を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・たとえ話や状況から、登場人物の良意を読み取ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・放事成語の教訓を自己や他者を見つめるきっかけとし、自分なりの考えを持つことができる。	【指導事項】 ・「漁夫の利」の意味について調べ、意味を踏まえつつ作品に入れるように指導する。 ・再読や各自の音読を繰り返行い、正しく訓読できるように指導する。 ・語句や再読文字、返読文字などに注意しつつ書き下しや現代語訳ができるように指導する。 ・「漁夫の利」という故事成語の意味と自身の経験や価値観を照らし合わせられるように指導する。 【教材】 ・桐原書店「探求 言語文化」 ・東京書籍「新精選 古典文法」三訂版 ・一人1台端末の活用 ＊意味調べ、チャットによる意見、振り返りシートの提出など	○	○	○	○	○	
	定期考査							

[illegible]